



2026年2月12日

各 位

会社名 株式会社 赤阪鐵工所  
代表者名 取締役社長 阪口勝彦  
(コード番号 6022 東証スタンダード市場)  
問合せ先 専務取締役執行役員管理本部長  
塚本義之  
(TEL. 054 - 685 - 6081)

## 特別利益の計上（投資有価証券売却益）及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2026年2月10日開催の取締役会において投資有価証券の一部売却について決定したことに伴い、特別利益（投資有価証券売却益）を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

また、2025年5月12日に公表した2026年3月期の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### ● 特別利益（投資有価証券売却益）の計上について

- ・ 売却理由：政策保有株式の縮減を進め、資本効率の向上を図るため
- ・ 売却株式：上場有価証券2銘柄
- ・ 売却期間：2026年2月12日から2026年3月31日
- ・ 投資有価証券売却益：190百万円（見込み）

#### ● 業績予想の修正について

2026年3月期通期個別業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 8,100	百万円 10	百万円 100	百万円 70	円 銭 52.37
今回修正予想(B)	8,250	△190	20	145	108.48
増減額(B-A)	150	△200	△80	75	56.11
増減率(%)	1.9	—	△80	107.1	107.1
(ご参考)前期実績	7,845	19	58	38	28.46

## 修正の理由

売上高は、修理部品、修理工事の売上増加に精力的に取り組んだ結果、当初計画を上回る見込みとなりました。収益面では、社内コストダウンに取り組むも、原材料、購入品の値上がりに加え新機種導入に向けた各種経費が想定以上に大きく、内燃機関の売値に値上がり相当分を転嫁しきれておらず、第3四半期以降の売上機関に関してもこれ以上の改善が見込まれないこと、また陸上部門向けの加工業務や、開発品の受注低迷が収益に大きく影響を及ぼすことが予測されるため、期初の予想に比べ損益は大幅に悪化する見込みとなりました。

但し、上記の通り、特別利益（投資有価証券売却益）を計上することになりましたので、当期利益については前回発表の業績予想を上回る見込みとなりました。

（注）業績予想につきましては本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。

以上